

相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院

相談支援センター 発行

第2号平成25年1月31日

新年のご挨拶

相談支援センター長 神林 崇

新年最初の相談支援センターだよりをお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。旧年中は全ての部署にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

当センター関連では、昨年『患者サポート体制充実加算』が認められたほか、地域連携加算を請求できるなど、退院調整に関わる部分での加算が多くなり、連携体制の強化の推進についての社会的な要請は年々ますます高まっています。地域医療への貢献という当院のミッションを全うするために、相談支援センターの主な3つの業務である、医療相談支援、医療機関との連携調整およびがんに関する情報収集・提供を本年も充実してまいりたいと思います。

加えて、様々な苦情や投書への対応も継続的に行い、総合的に満足度の高い医療機関となるべく努力を重ねていきたいと考えております。

がんサロン開催のお知らせ

女性特有のがんを体験されたあなた、一人で悩んでいませんか？
がん患者会「あおぞら」では体験者や家族の皆さんが悩み事や相談したいことなどを話し合うおしゃべりの部屋を開催します。

場 所：秋田大学医学部附属病院 2F 看護部会議室

日 時：平成25年1月31日(木) 14時～16時

受 付：13時40分～13時50分

参加費：200円(お茶代込み)

お問い合わせ先 E-Mail: akita_aozora@yahoo.co.jp

(次回は3/9(土)開催予定です)

参加される方へのお願い

- 入室前に参加理由など簡単に聞いて会の説明をします。(内容により入室をお断りすることがあります。)
- 途中入室はできませんので、受付時間内までにお越しください。
- 参加者のプライバシーを守るため「参加ルール」を守ってください。
- 個々の物品のやり取りは、行わないでください。
- 男性の方の入室はご遠慮ください。

詳細については、相談支援センターまでお問い合わせください



「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます



ケース1：看護師の方がよく患者さんから要件を聞いたときに、手の甲に書き取っていますが、小さなメモ帳を使用したほうが良いのではないのでしょうか。
手の甲だと書ききれない場合や、読み返しが出来ない場合が多いのではないのでしょうか？
(平成 24 年 11 月分)



回 答：看護師の日常業務についてご意見いただきありがとうございます。
看護師が手や腕にメモ書きするのを見かけますが、つい気持ちが急ぐことで体を書くように思います。見た目もよくないですし、洗うと読めなくなるような方法でメモをするのは、よい方法ではありません。
メモ用紙を準備するなどしながら、気持ちにも余裕をもって患者さんに対応できるよう心がけてまいります。



ケース2：〇〇手術で入院しました。手術前日、手術内容に不安を感じていたところに担当看護師さんがお話を聞いて下さり、また、お医者様も説明して下さい、安心して手術を受けることができました。入院中も多くの看護師さんが手とり足とりお世話して下さい、痛みにも寄り沿って下さり本当に感謝しています。
心からの優しさを頂き、回復したように思います。本当にお世話になりました。
(平成 24 年 11 月分)

回 答：この度は、温かいお言葉をいただきありがとうございました。
入院と手術で不安いっぱいであったことと思いますが、無事に手術を終えられ、退院されたことは私たちとしましても大変嬉しく思っております。
病院スタッフにとって患者さんからのお言葉は何よりの励みとなります。
これからも患者さんやご家族に安心していただけるようにさらに努力してまいります。

ケース3：病室にお見舞いに来て、気になっております。
清掃は行き届いており、とても有難いのですが、入院患者のベッドまわりを清掃するときには声かけをお願い致します。
寝ている時や、着替え等しているときや心の準備もあると思います。ぜひ、ご一考をお願いします。
(平成 24 年 9 月分)

回 答：貴重なご意見をいただきありがとうございます。
早速、清掃業者に対し病室内の清掃について指導を行いました。
今後もより良い療養環境を提供できるように努めてまいります。



編集
後記

あけましておめでとうございます。2013 年が皆さんにとって素晴らしい一年になりますよう願っております。
まだまだ厳しい寒さが続きそうですが体調を崩さぬようマスク必須で頑張ります！
今年もよろしく
願います